



学校だより

No. 4 さいたま市立神田小学校

令和8年6月30日発行 TEL (853) 4377

URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を

たくましく生きる神田の子

・かしこく・たくましく・あたたかく

誰一人取り残さない

校長 中村 誠

「これで、安心して仕事に行けます。」

6月3日の登校時、校門に立っていた私に、ある保護者の方がかけてくださった言葉です。この日は台風6号が首都圏を直撃し、登校させてよいのか判断に悩む日となりました。前日から、近隣の学校と連携して気象情報を集め、対応を検討しました。その結果、本校では市の基準に従うこととし、通常通り学校を行いました。一方で、登校に不安がある場合は無理に登校せず、出席停止扱いとすることにしました。つまり「登校する」「自宅で過ごす」という選択を、各ご家庭でできるようにしたのです。当日の朝は強い雨が降り続いていましたが、交通指導員や防犯ボランティア、保護者の皆様のご協力により、子どもたちは安全に登校することができました。そして、最後に校門を閉めようとした時、先の言葉をいただいたのです。

この言葉を聞いたとき、私は「誰一人取り残さない」という言葉を思い浮かべました。もし休校にしていたら、どうしても仕事を休めず、やむを得ず子どもだけを家に残さなければならぬご家庭もあったかもしれません。特に低学年のお子さんをもつ保護者にとって、それは非常に大きな不安となります。今回の対応は「休校」という一つの方法ではなく、子どもや家庭の状況に応じて選べるようにしたものです。その結果、それぞれのご家庭にとってより安心できる選択ができ「誰一人取り残さない」状況に一步近づけたのではないかと感じています。もちろん、学校は単に子どもを預かる場所ではありませんし、状況によっては休校を選択すべき場合もあります。これからも何よりも子どもたちの安全を第一に考えて判断してまいります。

「誰一人取り残さない」という言葉は、SDGsの取組でも大切にされている合言葉です。世界中の人々が安心して幸せに暮らせる社会を目指して掲げられています。この考え方は、世界規模だけでなく、私たちの身近な地域にも当てはまります。神田小学校の学区の中にも、それぞれ異なる生活環境や状況のもとで暮らす御家庭があります。だからこそ私たちは「子どもたちにとって本当に幸せな学校とは何か」「誰一人取り残さないために何ができるか」を、学校・保護者・地域が一緒に考えていくことが大切だと考えています。これは、校長としての私の強い決意でもあります。

これからも皆様と力を合わせ、「誰一人取り残さない社会」をこの地域から築いていきたいと願っています。そして、子どもたち一人一人のwell-being（多様な幸せ）の実現に向け、さらに取り組んでまいります。保護者地域の皆様におかれましては、神田小の全ての子どもたちの幸せのために、今後とも御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。